


# 子育ては誰のもの？ 社会における自己実現は？

真のジェンダー平等とは？

スマイルプレイス (for every child & parent)

代表 幸山 由佳





スマイルプレイスは、  
大山崎町で子育て支援  
活動をしています。

どんな活動かというと、  
NEXT→

親子サロン  
「スマイル  
プレイス」

おやこのひろば  
「サニイプレイス」



# イベント例： 料理教室



Relish  
森かおるさん



# イベント例：マドレボニータの産後ケア講座



- ①有酸素運動
- ②対話のワーク
- ③セルフケア



マドレボニータ = 美しい母

# 前向き子育て プログラム (トリプルP)

子育ての原則とスキルを学んで、実践する7週間の少人数グループプログラム。

各家庭に合った方法でスキルを用い、子育てがもっと楽に楽しくなる。



## 《自己紹介》

幸山 由佳（こうやま よしか）

家族：娘2名・息子1名・夫1名

ネコ2匹（茶トラ1匹、三毛1匹）

仕事：トリプルP認定ファシリテーター  
（前向き子育てプログラムの講師）や  
保育の仕事など。

活動：子育て支援・民生児童委員（主任児童委員）

1971年1月 福岡県に生まれる

1990年4月 中堅国立大学入学 乙訓地域出身の夫と出会う  
自然科学系学科専攻

…地球環境問題の解決について学びたかった

1994年3月 大学卒業 大学院進学予定だったが諦め、実家に帰り、  
アルバイト生活始める

就職活動→就活に必要な資料が女子学生には届かない。就職フェアで企業のブースでは「ウチは女性は自宅から通える人しか採らない」と言われる。

大学院入試には合格。夫となる人から「結婚するつもりなら、それまで福岡の実家へ帰って欲しい。自分の家族もそれを望んでいる」と告げられ、選択に相当悩んだ。

1995年11月 結婚(夫の仕事の関係で茨城県取手市に新居を構える)



1997年3月 **長女出産**

1998年10月 夫の転勤に伴い**広島市**へ転居

2000年1月 **次女出産**

2002年10月 夫の転勤に伴い、**山口県防府市**へ転居

2003年5月 **長男出産**

2004年9月 グリーンコープやまぐちで生協組合員活動をはじめ

2005年10月 夫の転職に伴い、**大山崎町**へ転居

2007年4月 スマイルプレイスの活動開始

# 理系女子の大学卒業後の人生は…？

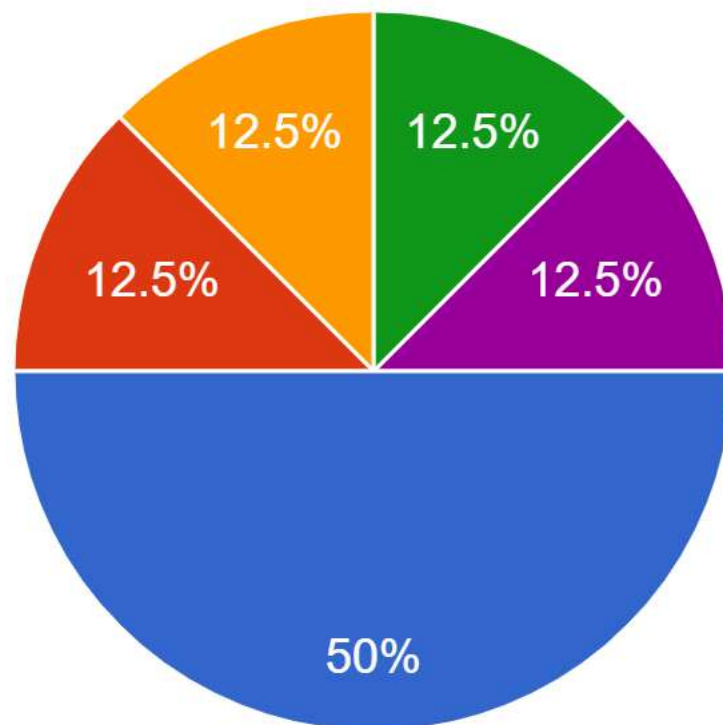
同じ大学学部学科専攻の8名の女性を  
比較します。(1970年～1971年生まれ)

1994年3月卒業

時代はバブル経済崩壊からおよそ2年経過

## 学部卒業後の進路は？

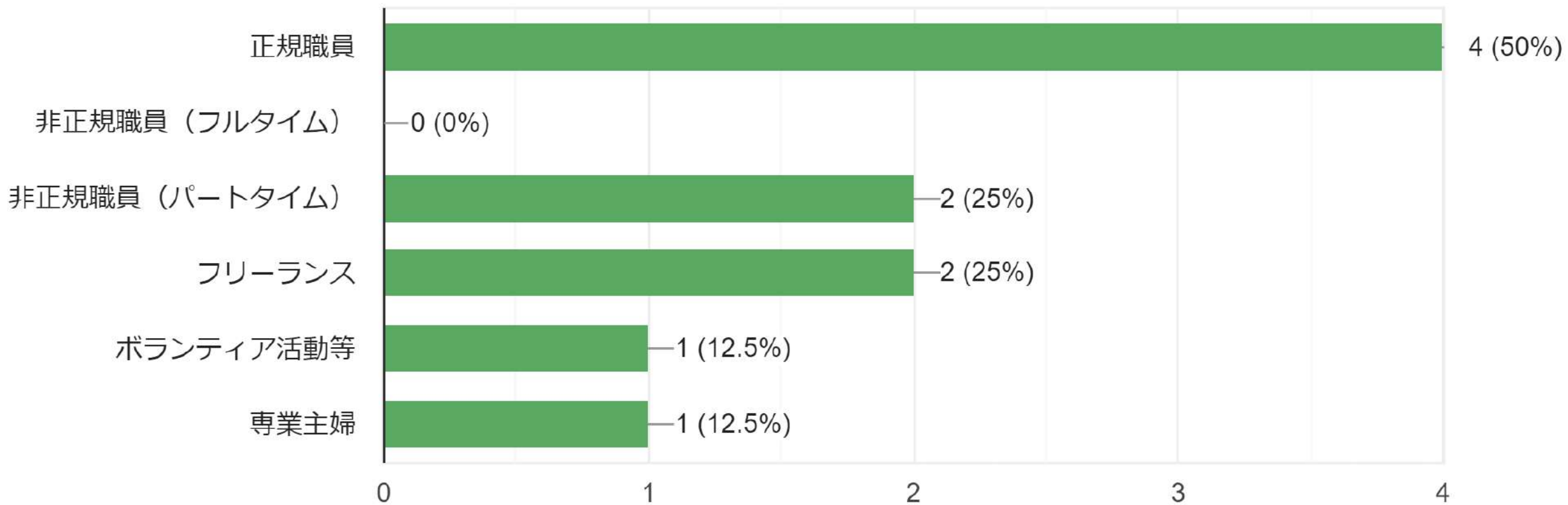
8件の回答



- 正規職員として就職した
- 非正規職員として
- 大学院等進学
- アルバイト
- 研究生

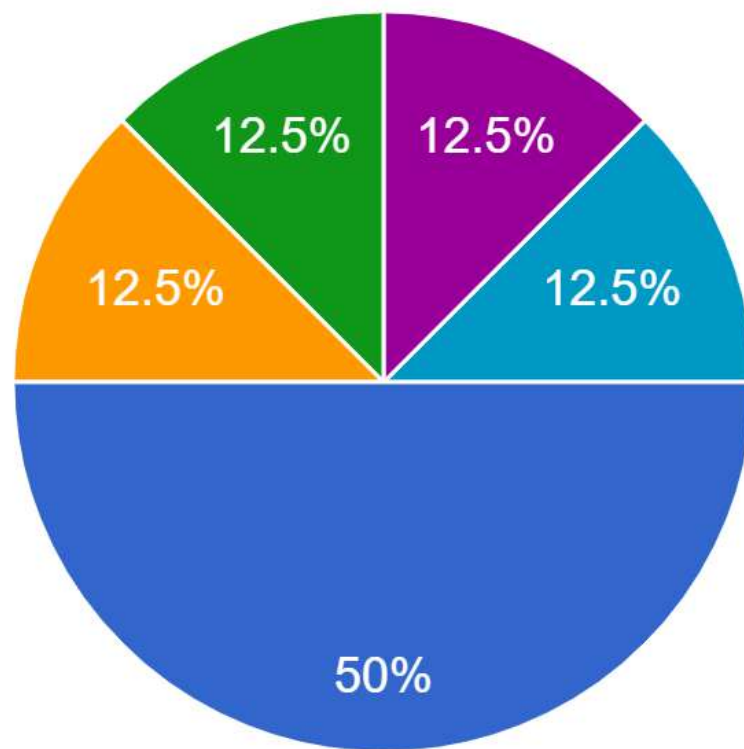
## 現在の状況を教えてください（複数回答可）

8件の回答



## 現在の就業状況

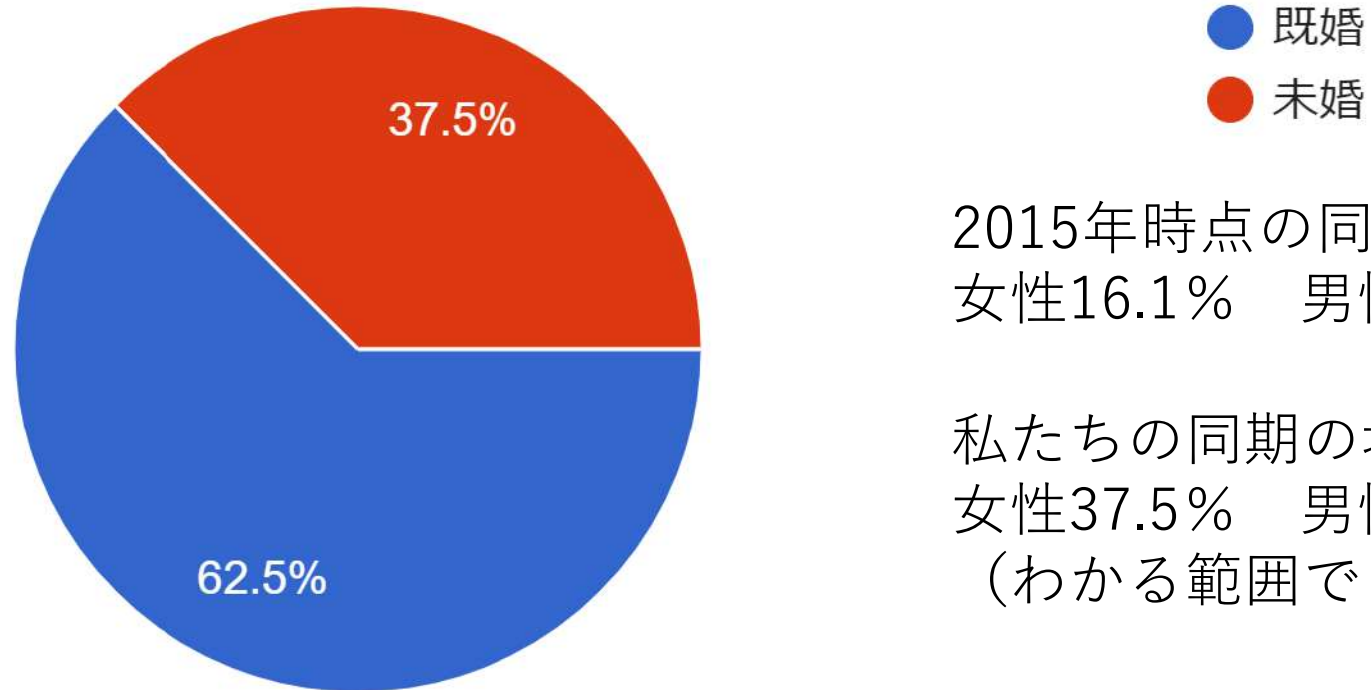
8件の回答



- 正規雇用
- 非正規雇用フルタイム
- 非正規雇用パートタイム
- フリーランス
- 専業主婦
- 複合的就業

## 結婚していますか？

8件の回答



2015年時点の同世代の未婚率は、  
女性16.1% 男性25.9%

私たちの同期の場合、  
女性37.5% 男性16~25%  
(わかる範囲でざっくり)

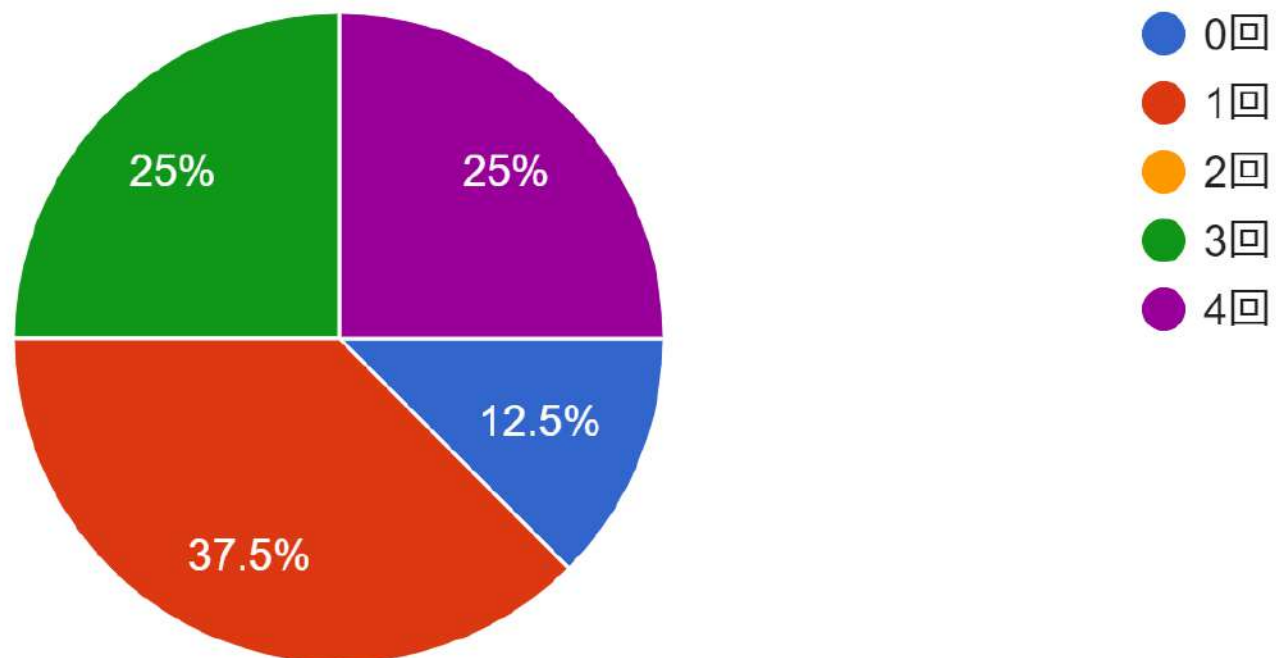
ちなみに、この集団の合計特殊出生率は1.5。

1966年~1971年生の2016年におけるコーホート  
合計特殊出生率は1.48で、ほぼ平均値。

(厚生労働省平成28年人口動態統計の概況より)

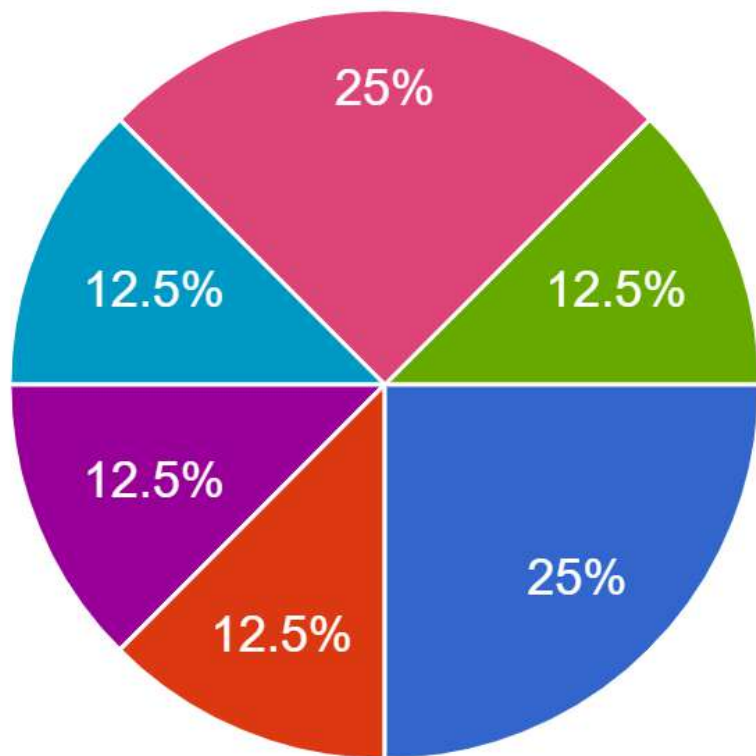
転職を何回しましたか？（雇用された事業所が変われば、転職したとみなします：非正規も含む）

8件の回答



# 自分自身の昨年の年収は？（額面で）

8 件の回答

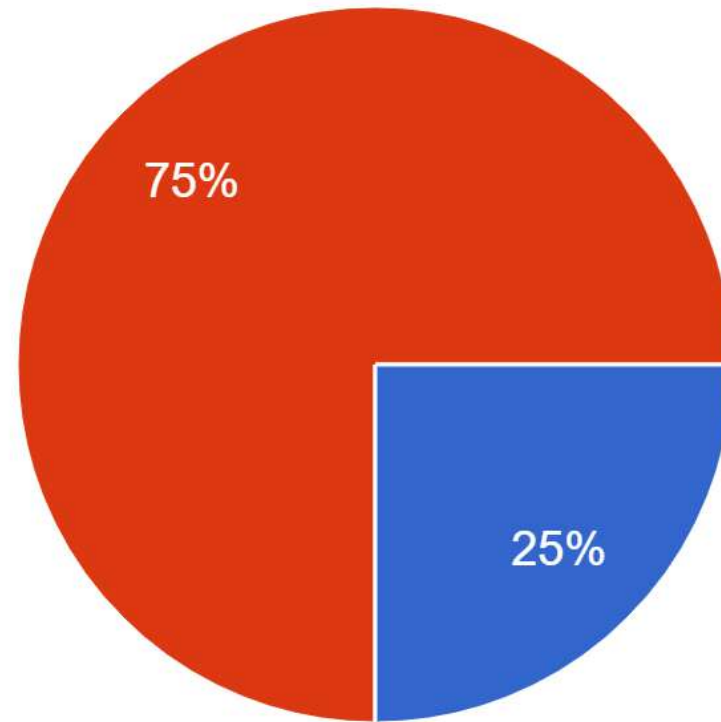


- 103万円以下
- ～200万円
- ～300万円
- ～400万円
- ～500万円
- ～600万円
- 600万円以上
- ナイショ



# 管理職を経験したことがありますか？

8 件の回答



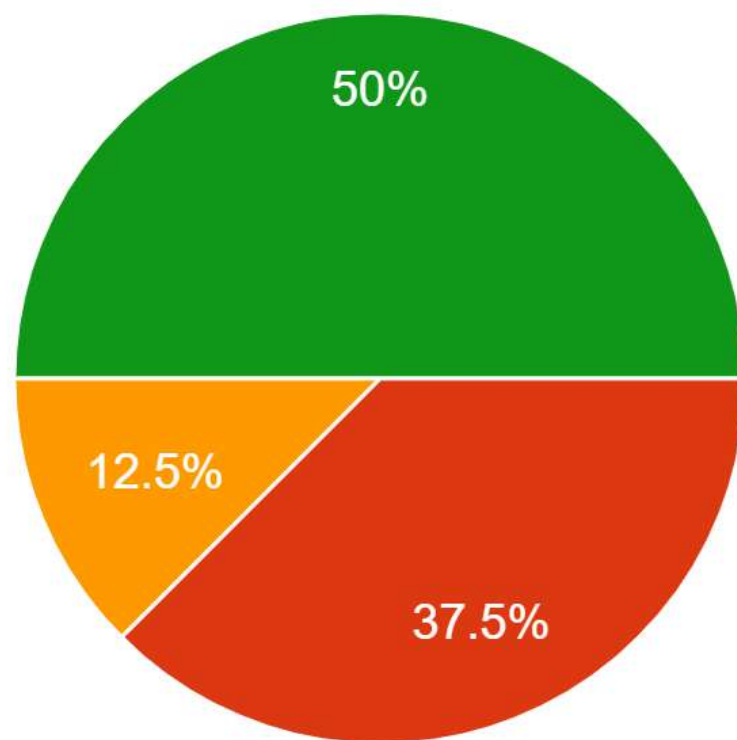
● Yes  
● No

日本企業の女性の管理職の割合は、  
部長相当職 7.8%  
課長相当職 10.7%  
係長相当職 18.8%

令和 3 年度雇用均等基本調査より  
(厚生労働省)

## あなたの母親について

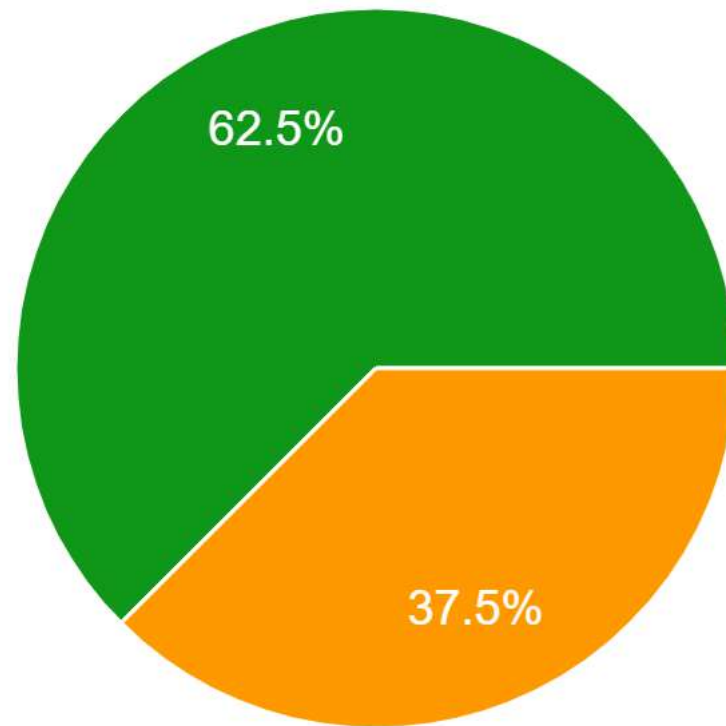
8件の回答



- 専業主婦だった
- 非正規雇用で働いていた
- 正規雇用で働いていた
- 自営業だった

## あなたの父親について

8件の回答



- 専業主夫だった
- 非正規雇用で働いていた
- 正規雇用で働いていた
- 自営業だった

## ◆彼女たち8名の現在の職業

- 大学教職員（研究者）
- マスコミ系システム担当者
- 起業した友人の補助（元専業主婦）
- 私立学校教職員（理科担当教諭）
- 専業主婦
- フリーライター（美容）
- 食品メーカー社員（開発）
- 地域活動×子育て支援事業従事者（元専業主婦）

## ◆アンケートの結果を見て思うこと

- ・ 就職に苦勞したな…
- ・ 転職多いな（非正規の場合特に）
- ・ 収入の格差が激しい（働き方も多様）
- ・ 元専業主婦は低収入（配偶者控除を意識 / 非正規就業）
- ・ 既婚者は家事育児に時間を割き、こどもや夫の都合に合わせてやすくしたり、自分の生活スタイルや健康上の理由から、非正規やフリーランスを選ぶ傾向。

## ◆さらに考えること

- 学校では男性と同じように学んだのに、社会に出る時になると「女性だから…」を理由に企業の採用の門戸が狭められた。

どうして私だけが、苦渋の選択をしなくてはならないの？

- 同様に、結婚後は家事と育児は当然女性が担うもの、という無意識の認識を押し付けられ(男女ともに)、大学卒業後の人生を見渡し、疲弊し、諦めたことも。

- 既婚で正規雇用の者は、かなりの努力（夫や家族へ理解を求め、ポジティブに研究に取り組んだ）の結果、ポストを勝ち取り、収入が最高レベルに。

ここまでしないと男性の収入やポストに追いつけないの？

## コメントより

ワンオペ育児が大変でした。

知り合った複数の母子友達と協力して何とか乗り切れましたが、育児が一人にかかってしまうことのないようなシステム、意識改革が必要だと思います。

## コメントより

母は祖父母が経営していた父親の家業を手伝っていました。  
父親が祖父母から独立して店舗を構え失敗。


多大な借金を返すため、母がスナックを開業し大当たり。  
父親より高収入になった母のことが受けいられず、ギャンブルとお酒、機嫌が悪くなると母や子供に暴力を振るう日々が。  
昭和世代の悲しい思い出です。

家族のため、自分のために働く者を、収入の多い少ないや性別や年代を問わず、互いに認め合い助け合いリスペクトしてほしい。世界平和は家庭内から始まってしまうと思う。

心のどこかで相手に対する不機嫌な気持ちや損得勘定が働くから戦争が起きているんだと思う今日この頃です。

SDGsという言葉を知ったときに、沖縄のおじいおばあが浮かんでくる。昔から地でいってる。見習わなあかんと思う。





---

男性も女性も多様な性も関係ない。

---

みんな同じように、

---

子育てをする権利

---

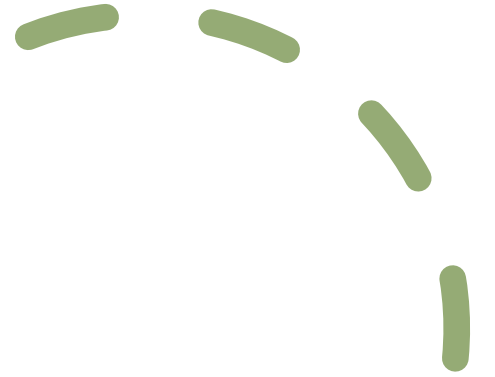
社会で自分の夢を実現する権利

---

があるはず



体力の差があるのは、当たり前。  
それを配慮して、ギャップを埋めて、  
社会が公平になるためには、  
不利になりがちな者たちの権利を認めて、  
支えるシステムを構築すること。





スマイルプレイス  
が考えることは…



# マドレボニータの産後ケア講座

美しい母は、育児に向かう  
気持ちが高く、社会復帰も  
意欲的。



マドレボニータ = 美しい母 = 自立する女性

# 前向き子育て プログラム (トリプルP)

こどもと親の人間性を尊重し、家庭内で対話をしながら互いを尊重し合うプログラム

性別にかかわらず対等な関係性を尊重し、支え合うことを勧めています。  
専業主婦も尊重されるべき存在！



# パパ応援企画

パパとベビーのヨガ

×

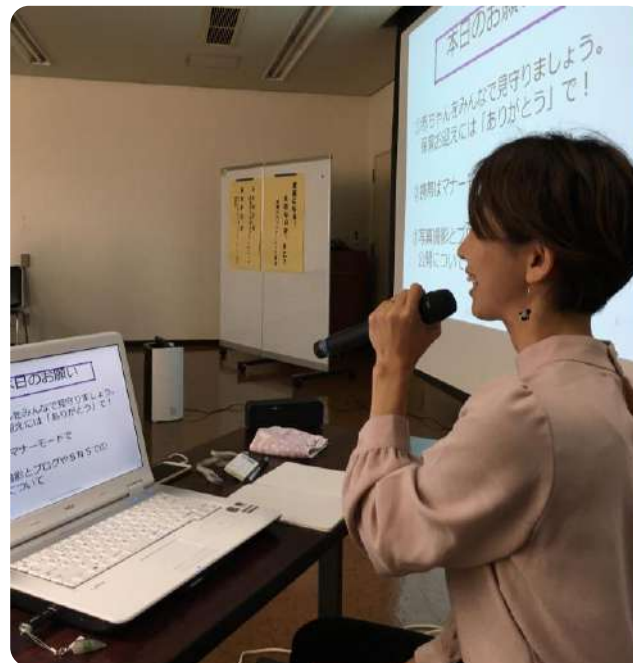
こどもとのあそび講座

男性ももっと家事育児を  
自分事と捉え、  
パートナーを尊重できる  
ように



# 両親学級 (夫婦の パートナー シップ)

産前産後の夫婦に向けた、  
産後クライシスと児童虐待を  
予防するための講座



さらには…

YouTubeで配信中！

- ・産後ケアの重要性
- ・家族計画
- ・**包括的性教育**の普及  
(国際セクシュアリティ教育  
ガイダンスに基づいた性教育)
- ・男性による子育てや家事に関する座談会(令和のパパ座談会)  
→育休経験者(男性)の話も

人権尊重に  
つながる

YouTubeイベント！

2022.2.25. 13:30~

《子育て期だからこそ知っておきたい、  
家族全員を大切にすること》  
～子どもとパートナーと私～

助産師さんから聴く、  
産後のケアから  
次の妊娠出産・性教育のお話



はじめのいっぽ助産院  
助産師：石井智美さん

令和のパパ座談会

イクメンから12年目の子育て

②

“イクメン”  
になるな  
父親になれ



誰もが自分らしく

豊かに輝ける生涯を

送ることができますように。

ご清聴ありがとうございました。